

アキュラホーム、2017年度業績概況について

株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮沢俊哉）2017年度（2018年2月期）の業績は、売上高40,309百万円（前期比6.0%増）、営業利益856百万円（前期比18.7%減）、経常利益901百万円（前年比16.1%減）、当期純利益521百万円（前期比0.3%減）となりました。

当期間概況

当期における我が国経済は、海外経済の緩やかな回復を背景に、輸出の持ち直しが続いたことで、企業収益が過去最高となり、雇用と所得環境も改善しました。しかし、景気回復が長期化する一方で、賃金の伸びは緩やかなものにとどまっており、デフレ脱却に向けた課題も残されていることから、消費マインドはまだまだ慎重といえます。

このような状況の中、当社グループでは、基本方針として「顧客感動経営の強化と総員経営マインドのさらなる推進」を掲げて、グループ全体で住宅および住宅関連事業を拡大および展開しました。

また、まちづくり事業では、さいたま市のスマートホーム・コミュニティ先導的モデル街区に採択された「浦和美園Eーフォレスト」が完売するなど、新たな事業分野へのチャレンジも次々に行っております。

さらに、日本次世代企業普及機構が主催するホワイト企業アワードにおいて、2017年10月にオープンした中規模木造建築オフィスの2拠点目となるつくば支店「住まいと暮らしサロン」が、その就労環境の良さと地域貢献活動が評価され、オフィス環境部門での受賞を果たしました。これは第1回のCSR部門賞・女性活躍部門賞ダブル受賞、第2回のホワイト制度部門大賞受賞に続き3年連続受賞となりました。

事業部門別概要

■住宅建築事業部門

住宅建築及び不動産を扱う事業では、日本政府が掲げる「2030年までに新築住宅の平均でZEHを目指す」とする目標に貢献すべく、ゴールデンウィーク・シルバーウィーク・正月の大型戦線に合わせて、「エコスマートハウス ZEH」「MIRAI ZEH」「MIRAI ZEH -NEO」を販売。未来基準の仕様、ワンランク上のデザインが好評を博し、2月の受注棟数は過去最高を記録しました。以上の結果、当事業セグメントでは、受注棟数1,623棟、引渡棟数1,429棟となり、売上高は39,606百万円となりました。

■工務店支援事業部門

工務店へのノウハウ提供及び工務店ネットワーク「ジャーブネット」の運営を行う工務店支援事業においては、永代ビルダー塾を中心に、地域密着型ビルダーが経営ノウハウを共有し合う循環型ネットワークの更なる推進に努めました。また、共同購買の一環として戦略性のある共同仕入れアイテムを展開し、会員企業の業績向上を推進しました。新規入塾は年間12社に限定し、会員企業の数を増やすことよりも、質を高めることに重点をおいています。以上の結果、当事業セグメントでの売上高は703百万円となりました。

■2019年2月期は売上高487億円が目標

2018年度は、アキュラグループでは完工棟数1,585棟（2017年度比10.9%増）、売上高487億円を目指しています。

<報道関係からのお問い合わせ>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・西口・柳内 Email : aqura_pr@aqura.co.jp

住所 : 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル34F TEL : 03-6302-5010 (直通) FAX : 03-5909-5570

連結決算 (※)

2017年度 (2018年2月期) の連結業績 (2017年3月1日～2018年2月28日)

損益計算書

(単位:百万円、%は対前期増減率)

区 分	平成 27 年度 (2016年2月期)		平成 28 年度 (2017年2月期)		平成 29 年度 (2018年2月期)	
	金額	%	金額	%	金額	%
売 上 高	37,389	7.0	38,017	1.7	40,309	6.0
営 業 利 益	879	486.6	1,053	19.8	856	△18.7
経 常 利 益	1,134	38.0	1,075	△5.2	901	△16.1
当 期 純 利 益	477	78.7	523	9.6	521	△0.3

貸借対照表

(単位:百万円、%は対前期増減率)

区 分	平成 27 年度 (2016年2月期)		平成 28 年度 (2017年2月期)		平成 29 年度 (2018年2月期)	
	金額	%	金額	%	金額	%
総 資 産	19,540	9.9	19,333	△1.1	20,345	5.2
総 負 債	13,011	11.2	12,365	△5.0	12,870	4.0
純 資 産	6,528	7.5	6,968	6.7	7,474	7.2

受注・完工棟数

(%は対前期増減率)

区 分	平成 27 年度 (2016年2月期)		平成 28 年度 (2017年2月期)		平成 29 年度 (2018年2月期)	
	棟	%	棟	%	棟	%
受 注 棟 数	1,565	7.2	1,664	6.3	1,623	△2.4
完 工 棟 数	1,390	0.2	1,395	0.4	1,429	2.4

(連結対象子会社)

(株)アキュラホーム埼玉中央、(株)アキュラホーム東京中央、(株)アキュラホーム埼玉西
(株)ハウスロジコム

(※) 平成 29 年度は連結損益計算書、新会社株主に帰属する当期純利益、連結貸借対照表となります。

【トピック】アキュラホームは、2018年10月1日に創業40周年を迎えます。40周年という節目の年の事業として、2018年3月26日～28日の3日間、大林組技術研究所にて実物大耐震実験を実施しました。この実験は、震度7クラス計10種類の地震波を連続で加震するという日本初の試みで、結果は構造体・内装材ともに損傷は無く、地震後も安心して住み続けられる建物であることが実証されました。また、この春に建築家やデザイナーとコラボレーションした3展示場をオープンし、これらの展示場には多くのお客様が来場しました。

会計監査につきまして、大手監査法人からの監査報告書を取得しています。

<アキュラホーム会社概要>

社名 株式会社アキュラホーム

代表取締役社長 宮沢俊哉

所在地 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F 電話 03-6302-5001 (代)

創業 1978 (昭和 53) 年 10 月 資本金 9,314 万円 従業員数 1,230 名 (平成 30 年 4 月 1 日現在)

事業 建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング

ホームページ <http://www.aqura.co.jp>